

学校読書活動の取組【京田辺市立大住おおすみ小学校】

1 実践テーマ 自分の考えを広げ、豊かに表現する児童の育成

～読書で夢を、読書で力を～

＊深い学びを見据えて、『探究心の形成・主体的で対話的な学び』ができる授業を展開することで、自分の考えを広げ、豊かに表現する児童の育成につなげていく。

2 学校の概況や児童の様子

本校は京田辺市北部の緑豊かな田園地域に位置し、近くにはとんちばなしの一休さんで有名な「酬恩庵一休寺」があり、多くの観光客が訪れます。

「大住おおすみ」の名は、1300 年以上前、南九州の大隅半島おおすみに住んでいた隼人はやとという人々がこの地に移り住んできたことに由来しています。毎年 10 月 14 日の夜、本校の南に隣接する月読神社つきよみにおいて「大住隼人舞おおすみはやとまい」が開催され、子どもたちもこの大住隼人舞おおすみはやとまいに加わり、隼人はやとの心を伝承しています。



また、本校は市内で最も古い小学校で、明治6年に「進徳校」の名で開校し、今年で創立 146 年を迎える歴史と伝統のある学校です。現在の児童数は 270 名あまりで、子どもたちは、学年分け隔てなく仲良くでき、毎日落ち着いた学校生活を送っています。

地域の文化や伝統を大切にしながら、時代の新しい視点を取り入れ、地域とともにある学校を目指しています。

3 実践内容

平成 26 年度より 29 年度まで、京田辺市の『教育実践モデル校』指定事業「読書活動推進モデル校」の指定を受け、「探究心を大切に、より豊かな学びの育成～読書活動を生かして学習を深める授業づくり～」をテーマに研究を進めました。



■読書活動を生かした授業研究



国語科の学習をはじめ、様々な教科や「総合的な学習の時間」の授業において、図書や情報を生かして児童の探究心を育て、主体的な学びを培ってきました。また、児童の実態に合わせて「読書指導年間計画表」や「各学年の図書館活用表」を作成しました。さらに、読書活動を通して、本校に隣接する幼稚園や保育所との連携にチャレンジしています。1年生が幼稚園児を招待して絵本の読み聞かせをしたり、一緒に遊んだりすることを通して、幼稚園とのスムーズな接続を目指しています。

■読書の意欲を高め、読書の幅が広がる取組や環境づくり

- 毎月4日を「全校読書デー」とし、家庭での読書啓発に取り組んでいます。家庭を巻き込んだ取組になるように、学年だよりでの啓発や「読書カード」への保護者の一言をお願いしています。また、学期ごとに読書の目標を達成した児童には『読書あっぱれ大賞』として表彰しています。
- 毎年5月の参観日に選書会を体育館で開催しています。子どもたちに人気のあった本を参考に学校司書と教員が相談して購入図書を決定しています。
- 朝読（読書タイム）を設定し、係による読み聞かせ、異学年による読み聞かせ、6年生による下学年児童への朝の読み聞かせ、ペア読、ブックトーク等を実施しています。
- 各学年の教室前廊下に、授業に関連した図書やおすすめの図書を並べ、学年図書コーナーを常設し、子どもたちが自由に読めるように整備しています。
- 図書室内は、季節に合ったおすすめの本のコーナーを整備しています。また、PTA サークルの方が制作した季節の飾りも加わり、「行ってみたいくなる図書室」を目指しています。
- 学校司書や外部団体、図書ボランティアとの連携を進め、計画的にお話会、全校読み聞かせを行っています。
- 秋の読書月間の取組として、「ワクワク読み聞かせ」、「読書の木」、「読書ビンゴ」を実施しています。
- 京都府立図書館の学校支援セット貸出しを活用したり、京田辺市立中央図書館から、「リサイクル図書」を譲り受けるなど、学年・学級図書の充実に力を入れています。



4 成果と課題

- 国語科に限らず様々な教科で、図書館資料を使って情報を選択したり、語彙が豊かになり、授業のまとめ等を自分の言葉で表現したりする場面が増えてきました。
- 読書意欲を高めるための取組や環境づくりに力を入れたことにより、読書への関心が高まり、図書室を利用する児童が増えました。また、各学年で常設した図書コーナーの本をちょっとした時間でも読む「すきま読書」、「味見読書」へと広がってきました。
- 学校図書館が、本の貸し借りだけでなく、図書館資料を使った授業を行う場になるなど、学校図書館の有効活用が進みました。
- 「とにかく行ってみよう！図書館へ！」と言われる学校図書館、学習を深める役割を担う学校図書館を目指して更なる充実を図っていきます。



※ 図書室利用状況（冊）

